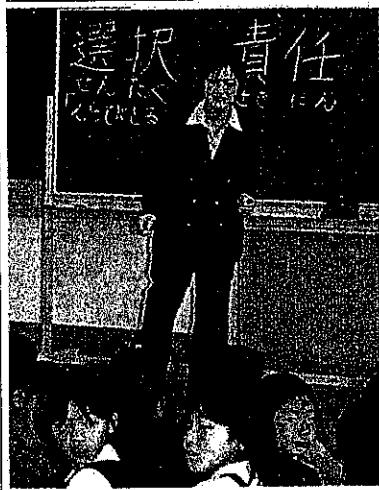


鹿児島



物やお金を大切にすることを話す陣内さん

お金の大切さと正しい使い方を学んでもらおう」と蒲生町立蒲生小（前原寿内校長、325人）で24日、金融教育の公開授業と講演会が行われた。児童たちは、お年玉を使い過ぎて本当に欲しい物が買えなかつた体験談などを発表しながら

「お金は必要性を考えて」ということを学んだ。

授業と講演会は、金融機関や県などごつくる「金融広報中央委員会」の主催。5年生の1クラス（26人）を対象に体育館で行われた

公開授業では、保護者を代表して鳥丸利朗さん（31）が自動車整備の仕事で使う工具を見せたり、技術を覚え込んだ手を触らせたりした。仕事のやりがいと責任

に触れながら、「お金は稼ぐことは大変だが、家族のためにがんばっている。み

んなが手にするお金は、お父さんやお母さんの気持ちがたくさんつまっています」と、息子と一緒に語りかけた。

講演会ではファイナンシ

ヤルプランナーの陣内恭子

さんが「少しづつ育てるお

金のはなし」と題して「お

金は私たちが幸せに生きて

お年玉、大切に使つた？

蒲生小で公開授業と講演会

いくために使つるもの。今自分がどうかよく考えて貰い物しましょう」と呼びかけた。

5年生の山口映奈美さん

（11）は「これからはお金をもらつたら、しっかりと見て大切に使つたり、貯金したりしたい」と話した。